

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)

【公開番号】特開 2013-112696 (P2013-112696A)

【公開日】平成 25 年 6 月 10 日 (2013.6.10)

【年通号数】公開・登録公報 2013-029

【出願番号】特願 2011-257584 (P2011-257584)

【国際特許分類】

C 09 J 175/04 (2006.01)

B 32 B 7/12 (2006.01)

B 32 B 27/40 (2006.01)

【F I】

C 09 J 175/04

B 32 B 7/12

B 32 B 27/40

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 8 日 (2014.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ポリオール (A) と、ポリイソシアネート (B) とを含有する接着剤組成物であって、前記ポリカーボネートウレタンポリオール (A) が、直鎖状アルキレンジオールからなるジオール単位を 80 ～ 100 モル % 含み、25 で液状であるポリカーボネートポリオール (C) とジイソシアネート (D) とを構成成分とする、数平均分子量 5,000 ～ 25,000、ガラス転移温度が -40 ～ 10 のポリカーボネートウレタンポリオール (A) であり、

前記ポリオール (A) と前記ポリイソシアネート (B) とを、前記ポリイソシアネート (B) 中のイソシアネート基 / 前記ポリカーボネートウレタンポリオール (A) 中の水酸基 = 0.5 ～ 1.0 / 1 (モル比) の範囲で、含む接着剤組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、ポリオール (A) と、ポリイソシアネート (B) とを含有する接着剤組成物であって、

前記ポリカーボネートウレタンポリオール (A) が、直鎖状アルキレンジオールからなるジオール単位を 80 ～ 100 モル % 含み、25 で液状であるポリカーボネートポリオール (C) とジイソシアネート (D) とを構成成分とする、数平均分子量 5,000 ～ 25,000、ガラス転移温度が -40 ～ 10 のポリカーボネートウレタンポリオール (A) であり、

前記ポリオール (A) と前記ポリイソシアネート (B) とを、前記ポリイソシアネート (B) 中のイソシアネート基 / 前記ポリカーボネートウレタンポリオール (A) 中の水酸基 = 0.5 ～ 1.0 / 1 (モル比) の範囲で、含む接着剤組成物に関する。

前記接着剤組成物において、ポリカーボネートポリオール（C）1分子あたりのカーボネート基当量は100～145 g/molであることが好ましい。